

令和3年度

児童相談所受付相談状況

高知県

## 全体の状況

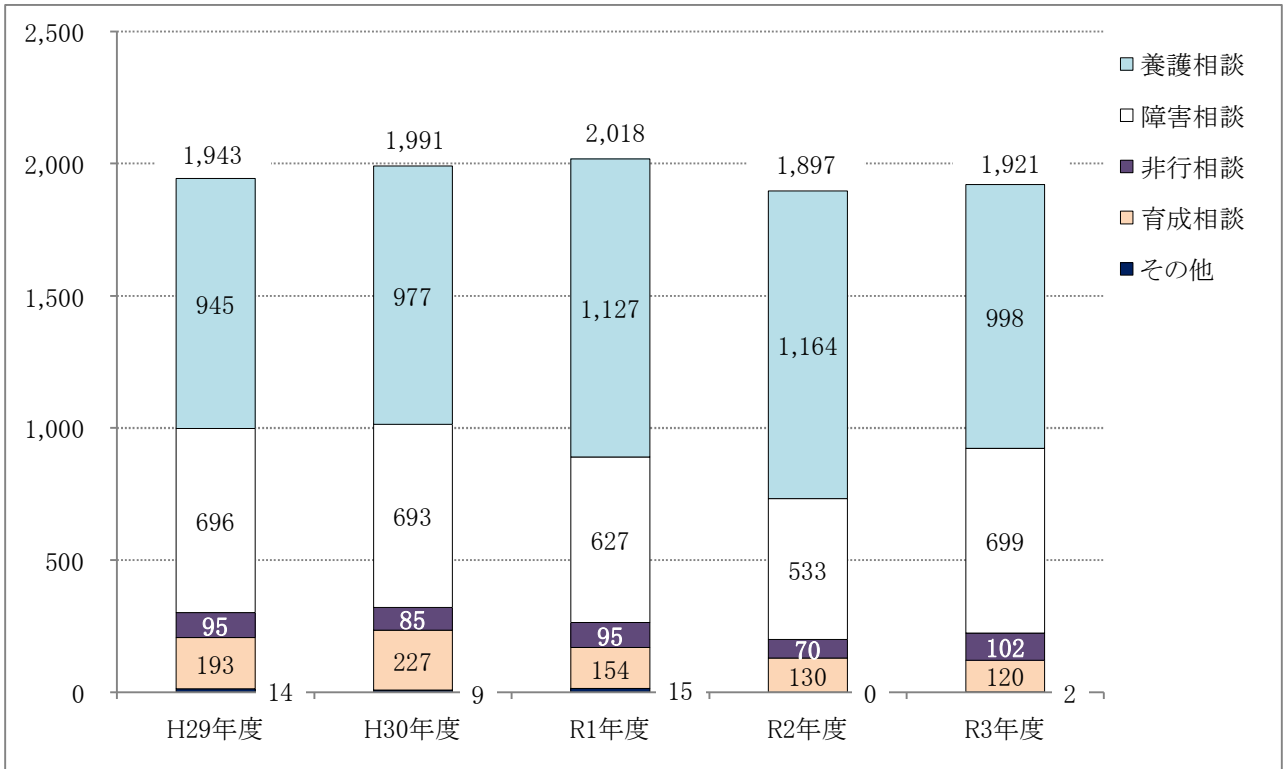
### ○ 相談種類別受付件数の年次推移

相談種別		H29	H30	R1	R2	R3	
高知県全体	養 護 相 談	945	977	1,127	1,164	998	
	うち虐待通告・相談件数	453	595	697	799	655	
	障 害 相 談	肢 体 不 自 由	4	2	4	3	4
		視 聴 覚 障 害	0	0	0	0	0
		言 語 発 達 障 害 等	49	51	19	24	28
		重 症 心 身 障 害	33	30	8	6	24
		知 的 障 害	569	557	553	469	594
		発 達 障 害	41	53	43	31	49
		小 計	696	693	627	533	699
	非 行 相 談	ぐ 犯 行 為 等	42	46	49	36	56
		触 法 行 為 等	53	39	46	34	46
		小 計	95	85	95	70	102
	育 成 相 談	性 格 行 動	165	206	142	123	110
		不 登 校	25	11	10	4	7
		適 性	0	7	1	2	1
		育 児 ・ し つ け	3	3	1	1	2
		小 計	193	227	154	130	120
	保 健 ・ そ の 他	14	9	15	0	2	
	計		1,943	1,991	2,018	1,897	1,921

○ 相談種類別受付件数の年次推移(相談所別)

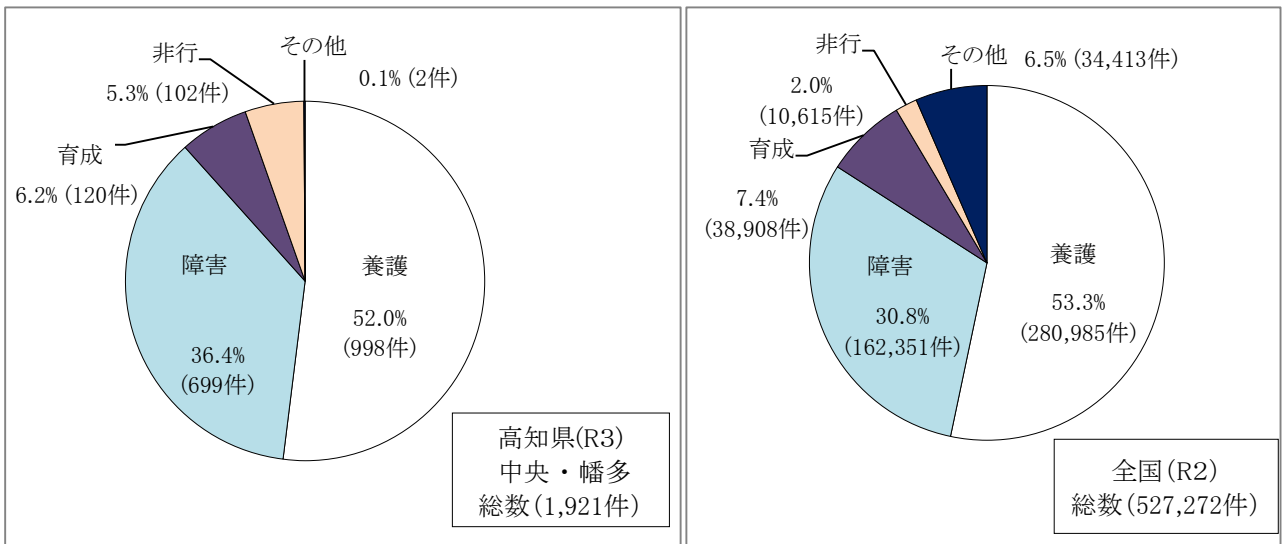
		相談種別	H29	H30	R1	R2	R3
中央児童相談所	養護相談	863	878	1,005	1,041	899	
	うち虐待通告・相談件数	404	544	614	722	591	
	障害相談	肢体不自由			4	3	4
		視聴覚障害等					
		言語発達障害等			3	3	4
		重症心身障害			6	5	24
		知的障害		1	487	404	523
		発達障害			20	8	26
	小計	0	1	520	423	581	
	非行相談	ぐ犯行為等	39	40	45	30	48
		触法行為等	52	37	45	33	45
		小計	91	77	90	63	93
	育成相談	性格行動	46	58	58	57	43
		不登校性	11	2	6		5
		適児・しつけ	3		1	2	1
小計		60	60	66	59	50	
保健・その他			6		2		
計	1,014	1,016	1,687	1,586	1,625		
(中央児童相談所障害児部門)	養護相談	6	1				
	うち虐待通告・相談件数						
	障害相談	肢体不自由	2	2			
		視聴覚障害等					
		言語発達障害等	36	37			
		重症心身障害	32	28			
		知的障害	503	485			
		発達障害	15	10			
	小計	588	562	0	0	0	
	非行相談	ぐ犯行為等	1	1			
		触法行為等					
		小計	1	1	0	0	0
	育成相談	性格行動	60	75			
		不登校性	3	2			
		適児・しつけ		7			
小計		63	87	0	0	0	
保健・その他							
計	658	651	0	0	0		
幡多児童相談所	養護相談	76	98	122	123	99	
	うち虐待通告・相談件数	49	51	83	77	64	
	障害相談	肢体不自由	2				
		視聴覚障害等					
		言語発達障害等	13	14	16	21	24
		重症心身障害	1	2	2	1	
		知的障害	66	71	66	65	71
		発達障害	26	43	23	23	23
	小計	108	130	107	110	118	
	非行相談	ぐ犯行為等	2	5	4	6	8
		触法行為等	1	2	1	1	1
		小計	3	7	5	7	9
	育成相談	性格行動	59	73	84	66	67
		不登校性	11	7	4	4	2
		適児・しつけ				1	1
小計		70	80	88	71	70	
保健・その他	14	9	9				
計	271	324	331	311	296		

## ○相談種類別受付件数の年次推移



(注) 本県では、平成30年度までは、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当していたため、同センター取扱い分を加えて比較している。

## ○相談種類別構成比の全国(R2)との比較



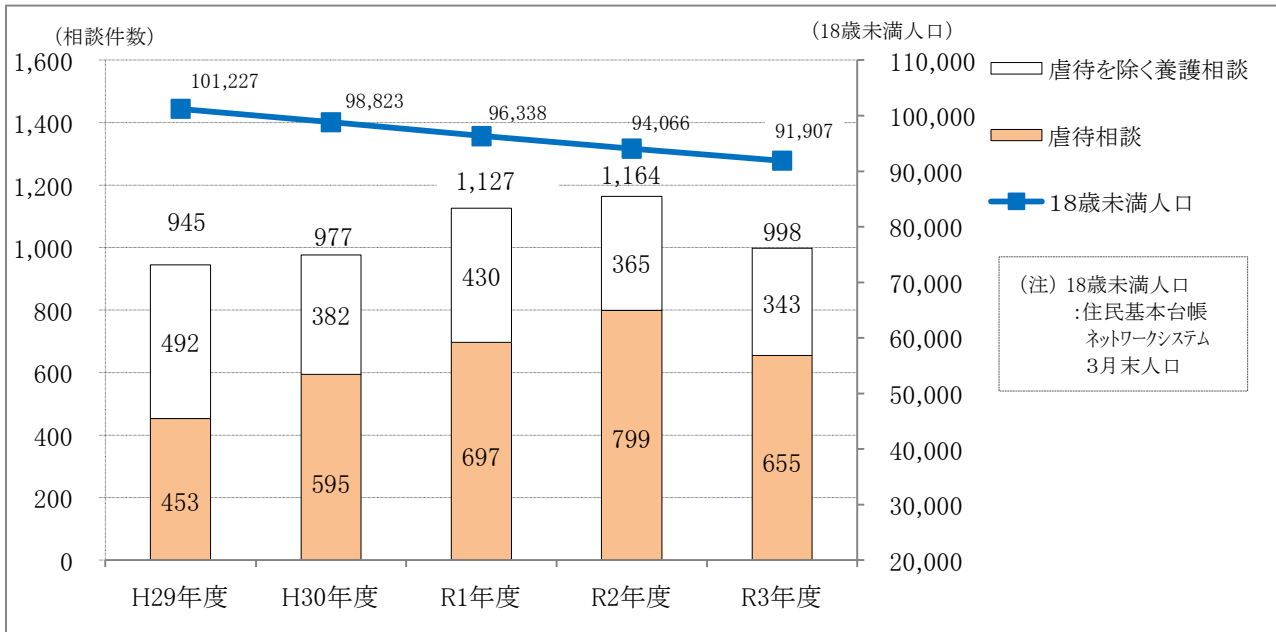
\* 出典：厚生労働省『福祉行政報告例』

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
養護	945	977	1,127	1,164	998
障害	696	693	627	533	699
非行	95	85	95	70	102
育成	193	227	154	130	120
その他	14	9	15	0	2
計	1,943	1,991	2,018	2,018	1,921

	29年度	30年度	R1年度	R2年度
養護	195,786	228,719	267,955	280,985
障害	185,032	188,702	189,714	162,351
非行	14,110	13,333	12,410	38,908
育成	43,446	43,594	42,441	10,615
その他	28,506	30,508	32,178	34,413
計	466,880	504,856	544,698	527,272

# 養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

## 1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



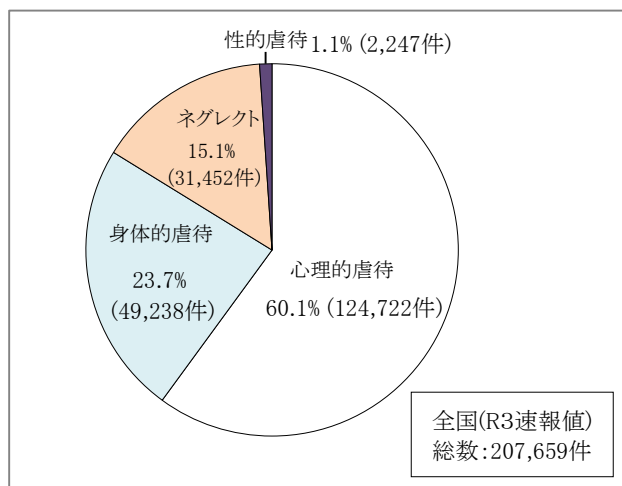
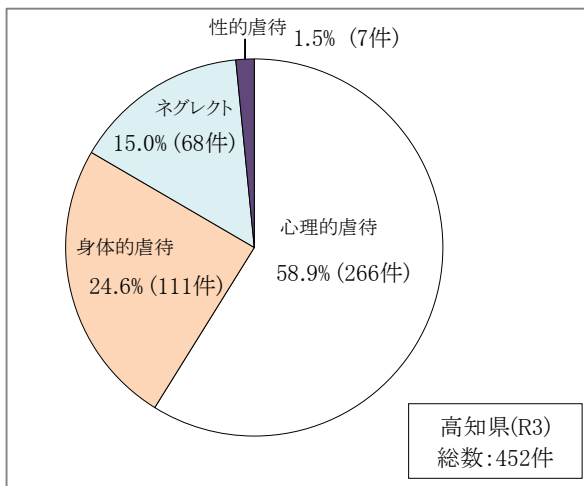
養護相談：養育困難（保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等）、迷子に関する相談、及び虐待相談（身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談）

## 2 児童虐待(令和3年度)

(1) 児童虐待相談対応件数 (※対応件数:相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
受付件数	453	595	697	799	655
対応件数	326	420	458	583	452

(2) 虐待の種類別の構成割合



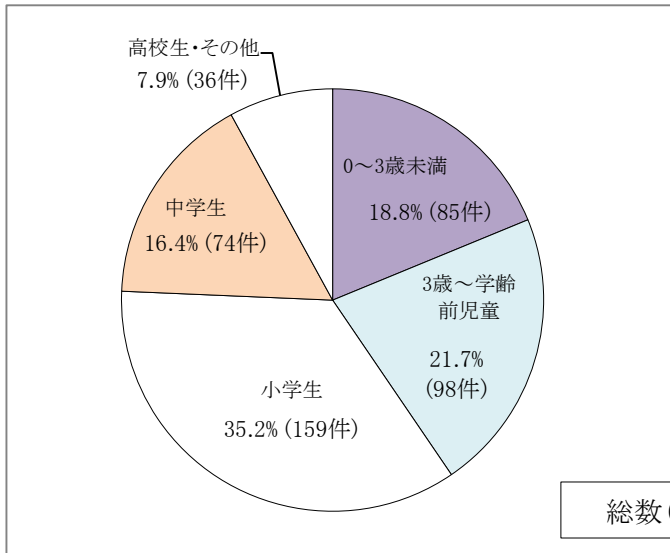
高知県(件数)

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
心理的虐待	184	273	241	355	266
身体的虐待	55	66	87	133	111
ネグレクト	82	78	125	88	68
性的虐待	5	3	5	7	7
計	326	420	458	583	452

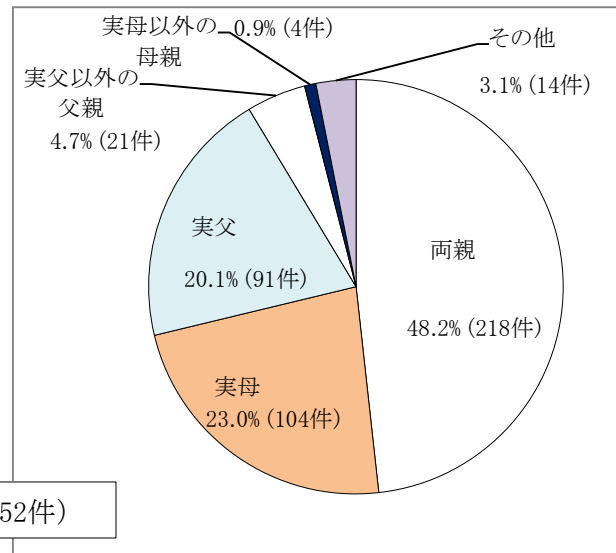
全国(件数)

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
心理的虐待	88,391	109,118	121,334	124,722
身体的虐待	40,238	49,240	50,035	49,238
ネグレクト	29,479	33,345	31,430	31,452
性的虐待	1,730	2,077	2,245	2,247
計	159,838	193,780	205,044	207,659

(3) 被虐待児の年齢別構成割合



(4) 主たる虐待者



総数(452件)

(注) 主たる虐待者の『その他』は、実母と交際相手4件、実母と内縁男性3件、実母と祖母2件、実父の内縁女性、元養父、実父と祖父・伯父、実母の交際相手、実母と曾祖母が各1件

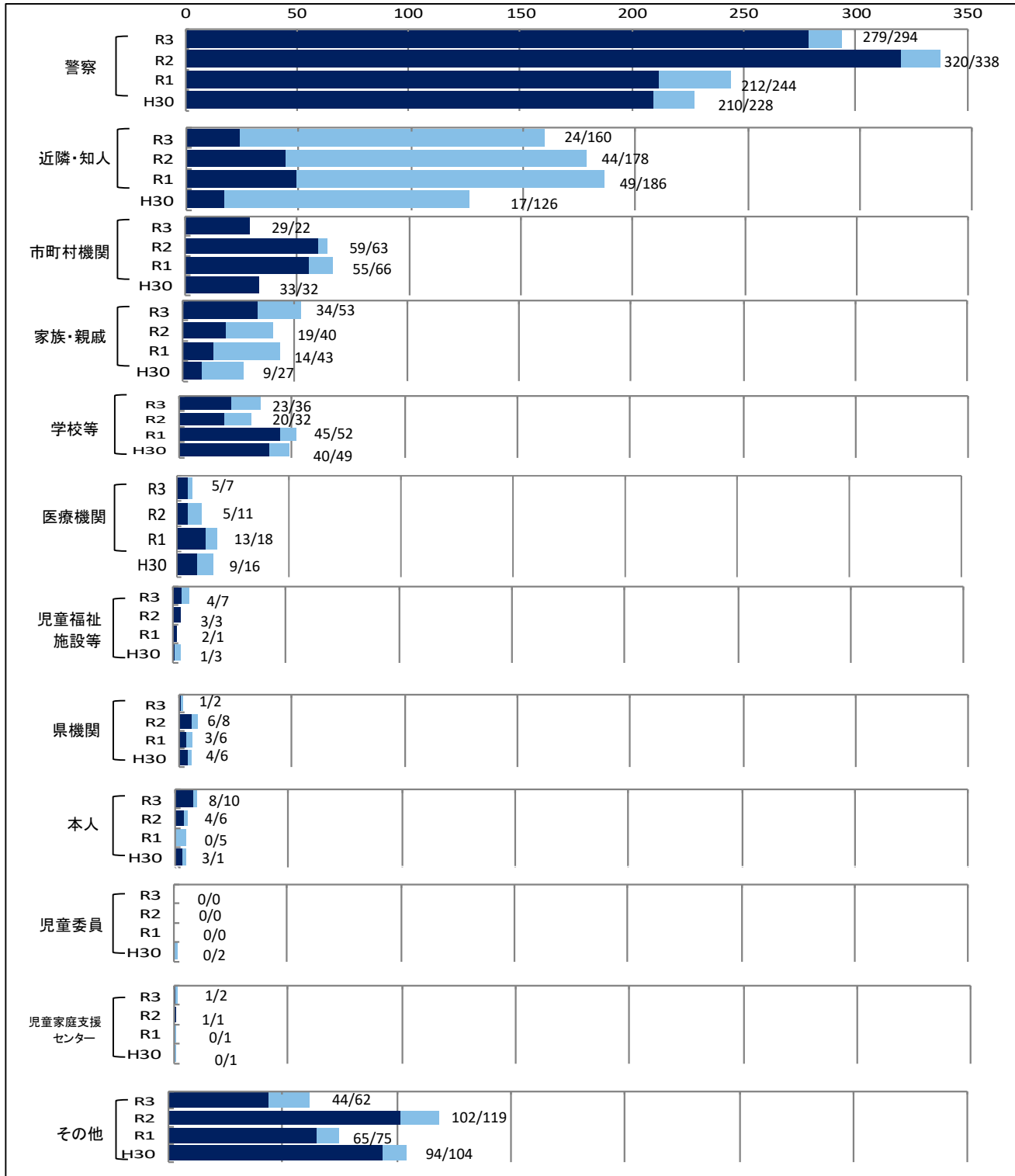
被虐待児の年齢別(件数)

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
0～3歳未満	80	114	92	123	85
3歳～学齢前児童	71	79	103	124	98
小学生	113	132	155	215	159
中学生	38	63	71	81	74
高校生以上	24	32	37	40	36
計	326	420	458	583	452

主たる虐待者(件数)

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
両親	122	135	176	245	218
実母	88	99	125	162	104
実父	92	130	103	105	91
実父以外の父親	6	16	17	26	21
実母以外の母親			2		4
その他	18	40	35	45	14
計	326	420	458	583	452

(5) 虐待通告及び認定・対応ケースの経路別件数



		警察等	近隣・知人	市町村機関	家族・親戚	学校等	医療機関	児童福祉施設等	県機関	本人	児童委員	児童家庭支援センター	その他	計
R3年度	認定	279	24	29	34	23	5	4	1	8	0	1	44	452
	通告	294	160	22	53	36	7	7	2	10	0	2	62	655
R2年度	認定	320	44	59	19	20	5	3	6	4	0	1	102	583
	通告	338	178	63	40	32	11	3	8	6	0	1	119	799
R1年度	認定	212	49	55	14	45	13	2	3	0	0	0	65	458
	通告	244	186	66	43	52	18	1	6	5	0	1	75	697
30年度	認定	210	17	33	9	40	9	1	4	3	0	0	94	420
	通告	228	126	32	27	49	16	3	6	1	2	1	104	595

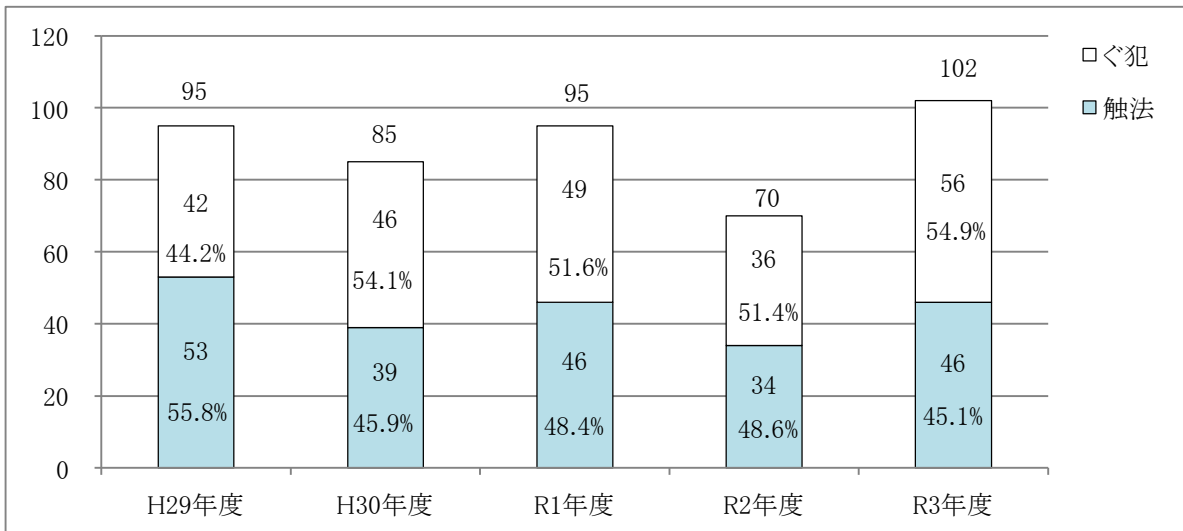
※グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった655件及び児童虐待として対応した452件 について分析したもの。

また、虐待として認定されたもののうち、8件が一時保護中のため次年度の件数として持ち越された。

※『その他』は他県児相からの移管や県民からの通告及びきょうだいケースで虐待認定したもの。

### 3 非行相談

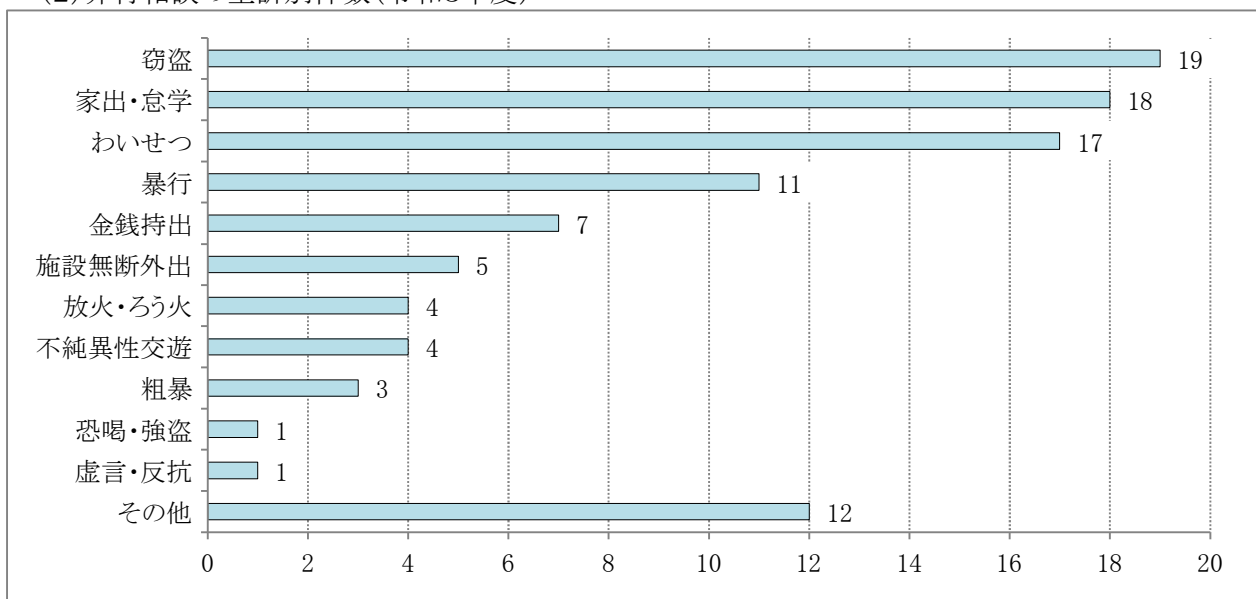
#### (1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)や家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

#### (2) 非行相談の主訴別件数(令和3年度)



(注) 『その他』の内容：不法侵入4件、深夜徘徊・器物損壊各2件、ガス漏出・施設不適応・迷惑防止条例違反・私電磁的記録不正作出各1件

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
窃盗	39	38	24	19
家出・怠学	9	9	10	18
金銭持出	3	8	2	7
わいせつ	10	11	15	17
暴行	4	6	3	11
不純異性交遊	4	5	1	4
粗暴	1	3	0	3
傷害	2	3	2	0
放火・ろう火	1	0	1	4
虚言・反抗	5	1	1	1
薬物乱用・飲酒・喫煙	1	0	0	0
施設無断外出	3	1	1	5
恐喝・強盗	1	0	1	1
その他	1	10	9	12
計	84	95	70	102



## 一時保護(委託)の状況

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度		
	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計
虐待	99 (48)	61 (26)	160 (74)	87 (54)	63 (29)	150 (83)	80 (54)	69 (25)	149 (79)	123 (87)	69 (38)	192 (125)	70 (55)	50 (27)	120 (82)
その他	73 (13)	57 (2)	130 (15)	110 (26)	83 (10)	193 (36)	109 (28)	118 (6)	227 (34)	68 (21)	94 (19)	162 (40)	126 (44)	119 (5)	245 (49)
計	172 (61)	118 (28)	290 (89)	197 (80)	146 (39)	343 (119)	189 (82)	187 (31)	376 (113)	191 (108)	163 (57)	354 (165)	196 (99)	169 (32)	365 (131)

※年度内に一時保護を開始した件数

※( )は、職権保護数で内数